

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県総合リハビリテーションセンター		
所在地	厚木市七沢5 1 6		
サイトURL	http://www.kanagawa-rehab.or.jp		
根拠条例	神奈川県総合リハビリテーションセンター条例		
設置目的(設置時期)	心身障害者等の社会復帰を積極的かつ効果的に推進するため、福祉と医療の連携により、入所及び入院している者等に最も適した診断、治療及び機能回復訓練のほか、職業準備訓練、生活支援等を積極的に行うとともに、併せてこれらに関する研究を行い、総合的かつ一貫したリハビリテーションを実施するため(昭和48年4月)		
指定管理者名	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団		
指定期間	H28.4.1 ~ R8.3.31 (2016年) ~ (2026年)	施設所管課 (事務所)	県立病院課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>評価については、利用状況はC、利用者の満足度がS、収支状況がAであったことから、3項目評価はB評価とした。</p> <p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大により短期入所者の受入れを中止するなど、施設の利用を制限せざるを得ない状況が続いたことから、利用状況についての評価が低くなった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、施設の利用を制限することはやむを得ない状況であるため、今後も、感染拡大の状況を注視しながら、施設運営を行っていく。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、計画していた事業の中止や施設利用の制限などを行わざるを得ない状況となったが、感染防止対策を講じつつ、適切に管理を行った。 また、「かながわりハビリロボットクリニック」の取組を行うなど、県施策との連携が図られている。</p> <p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、短期入所者の受け入れを中止するなど、施設の利用を制限したことから、目標を大きく下回る実績が多数あり、C評価とした。 (A評価が1区分、B評価が3区分、C評価が6区分)</p> <p>◆利用者の満足度 施設により9月~11月のいずれかで実施した。概ねS評価となっているため、S評価とした。</p> <p>◆収支状況 収支比率が100.32%となったため、A評価とした。</p> <p>◆苦情・要望等 概ね利用者に理解を得られるような対応がとられている。</p> <p>◆事故・不祥事等 施設利用中の利用者の骨折事故等が数件発生している。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 特になし</p> <p>◆その他 神奈川リハビリテーション病院については、令和2年2月に帰国者接触者外来を設置し、感染疑いのある患者にPCR検査を実施するなど、厚木市立病院などとともに、県央二次医療圏における新型コロナウイルス感染症対策の重要な役割を担ってきた。現在も厚木市の依頼を受けて、高齢者用ワクチンの接種会場となっている。</p> <p>こうしたこともあり、新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、センター全体が通常とは異なる運用となるが、今後も感染の動向に注視しながら、注意深く施設運営を行っていく。</p>

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
	有・ 無	

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
1 重点方針 (1) 高度専門性の発揮	<p>リハビリテーションセンターの指定管理者として、民間の病院や社会福祉施設では対応が難しい重度・重複障害者への医療・福祉サービスの提供とリハビリテーションに関わる研究開発や地域のリハビリテーション活動を支える市町村等への支援のため、優秀な人材の確保と職員の資質の向上に取り組んでいる。特に職員の資質向上にあっては、学会や研修会の旅費及び参加費の費用について一定の支援を行っている。</p> <p>また、「かながわりハビリロボットクリニック」の取組として、企業や大学と連携しながら、筋電義手をはじめとしたリハビリテーション医療など治療・訓練効果の評価検証を行っている。なお、令和2年度の筋電義手の対象患者は乳幼児からの相談が多く、4人の乳幼児の訓練を開始した。公費の認定は、障害者総合支援法による認定1名、労働者災害補償保険制度による認定1名となった。</p> <p>ロボットを活用したリハビリテーションでは、主に脊髄損傷の患者を対象に歩行アシスト装置を活用した歩行訓練を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により外来リハビリテーション訓練の中止や面会が制限されたため、実施件数は減少した。</p>	
(2) 収益の確保、効率化	<p>収益拡大につながる患者確保の取り組みとして、家族・入院相談の受付、入院審査の迅速化を図るなどより良いサービスの提供と利用率の向上に努めている。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用制限をしたことにより、一部の施設で利用率や収入が未達成の状況となっている。</p>	

(3) 安全管理対策の強化	病院・施設の安全管理強化のため、病院の正面玄関開通後は、休日や夜間は正面玄関を除き電気錠等による施錠を行い、セキュリティ強化を図った。また、福祉施設において、地元警察の防犯研修（12月3日）を実施した。	
(4) 障害者スポーツの推進	2020年に開催予定であった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、障害者スポーツの支援について、各競技団体と連携しながら企画等を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。	
<p>2 事業計画</p> <p>(1) 病院機能の充実</p> <p>(7) リハビリテーション機能の充実</p>	<p>脊髄障害、脳外傷等の後天性脳損傷（高次脳機能障害）、骨・関節疾患（変形性股関節症等）、脳血管障害、神経難病、小児神経疾患（小児の高次脳機能障害、急性脳症後遺症等）、合併症を持つ重度身体障害者などに対するリハビリテーション医療（診断、評価、治療、看護、リハビリテーション訓練等）を提供し、入院患者数は、延78,208人（実入院患者数1,149人）で、一日平均の入院患者数は214.3人（一日平均入院率76.5%）であった。</p> <p>退院患者数は、1,148人で、家庭復帰が1,021人（88.9%）と最も多く、次いで施設入所76人（6.6%）、転院51人（4.4%）となっており、死亡退院は0名であった。</p> <p>外来患者数は、延45,452人（一日平均187.0人）で、内訳は、初診が2,008人で再診が43,444人であった。</p>	
(イ) 地域との連携強化	<p>近隣医療機関等との連携により、患者の紹介件数は1,030件、逆紹介件数は1,645件となっており、紹介件数の目標値1,000件、逆紹介件数の目標値1,300件を達成している。</p> <p>令和元年度に新設した地域連携室は役割を拡げ、紹介元病院との連携強化を行っている。</p>	<p>これまで、病院と外部との接点は、病院間の患者の紹介は医師が、また、患者から病院への問い合わせは総合相談室のケースワーカーが主に担っていた。</p> <p>しかし、最近では、高齢化の進展や医療・介護ニーズの更なる増大もあり、限られた医療資源を有効に活用することが求められていることから、新たに地域連携室を設置した。</p> <p>これにより、疾患や院内の状況に精通した看護師が、他院からの患者紹介などに対応することで、症状もより詳しく把握でき、スムーズな入院等に繋がるなど、予想以上の成果があった。</p>
(ロ) 患者の視点に立った病院経営	患者にとってわかりやすい医療を提供し、平均在院日数の短縮、安定的治療、ベッドコントロールの円滑化を図るとともに、総合相談室において利用者からの要望・苦情に対する回答として院内表示及び郵送などによる対応を行った。入院患者満足度調査を実施し、目標値を達成することができた。	
(エ) 効率的・効果的な業務運営と経営改善	入院審査の迅速化を実施し、待機患者の期間短縮に取り組み、患者確保を強化した。また、令和2年度は電子カルテシステムの導入から1年が経過した。データの蓄積が徐々に進み、入院患者の地域別分布図の作成が可能となるなど、経営分析につながるデータの活用が始まっており、引き続き安定的な運用に努力する。	

<p>(2) 福祉機能の充実</p> <p>ア 七沢学園</p> <p>(ア) 施設機能の充実</p>	<p>福祉型障害児入所施設では、虐待やその傾向にあるケースと自閉症など広汎性発達障害やADHD（注意欠陥多動性障害）等を伴うケースの利用が依然として際立っている。令和2年度の利用者数は、入所が7人、退所が10人、一日平均入所者数は26.3人で、一日平均入所率は87.5%であった。</p> <p>また、虐待等の措置入所のほか、短期間（1ヵ月～6ヵ月）の施設入所を通して、ADL（日常生活動作）の評価や改善、集団生活での行動観察や評価、家族のレスパイト等の課題を絞り込み「集中療育」を実施しており、令和2年度は入所定員30名のうち2名枠を設けて、利用者実人数は4名であった。</p> <p>障害者支援施設の施設入所支援の利用状況は、入所が6人、退所が5人、一日平均入所者数は29.5人で、一日平均入所率は98.4%であった。日中活動支援の生活介護においては、強度行動障害者や医療ケアを必要とする利用者の健康維持を基本に機能や発達レベルに応じ機能維持訓練や軽作業、歩行訓練も行っており、一日平均利用者数は18.0人、一日平均利用率は95.0%であった。</p> <p>自立訓練（生活訓練）においては、利用者各々に合った個別作業を主とした支援を行っており、一日平均利用者数は15.4人、一日平均利用率は90.8%であった。</p>	
<p>(イ) 地域との連携強化</p>	<p>地域福祉支援事業では、電話や来園による相談支援及び知的障害児通所機関巡回指導は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、利用制限を行ったため、事業中止となった。</p> <p>児童施設・成人施設ともに実施している短期入所事業では、児童利用者実人数0人、延べ人数0人、成人利用者実人数12人、延べ人数169人の合計延べ人数169人を受け入れた。その他、児童福祉法第33条に基づく緊急一時保護による入所の受入れは実人数12人、延べ人数102人であった。</p> <p>なお、地域の知的障害者やグループホーム等へ地域移行した退所者及び短期入所のうち生活介護の受給者証を所持する者を対象として日中活動支援（通所訓練）を提供した。実人数30人、延べ人数184人を受け入れた。</p>	<p>短期入所の制限・中止については、施設内での感染拡大を防ぐためということで、多くの家族に理解していただいた。</p> <p>学園児童短期の利用に関して、定期的に短期入所を利用していた家庭については、電話にて状況を確認しているが、短期入所を利用できない間は、家族や親戚の協力でやりくりをしている家庭が多い。元々、別事業者の放課後デイサービスを併用していた家庭については、放課後デイサービスを継続して利用することが家族の負担軽減につながっているようである。</p> <p>なお、相談支援事業所等のサービス支援計画作成や相談には随時対応をおこなった。</p> <p>学園成人短期入所については、例年利用している行動障害を伴う利用者で、受入れの必要性が高く且つ2週間の健康管理と行動管理が確実な利用者に関り、短期利用者を受け入れた。</p>
<p>(ウ) 利用者の視点に立った施設運営</p>	<p>第三者からなる苦情解決委員により、知的障害児者は月2回の相談日を設け適切かつ公正に対応するとともに、施設毎の苦情解決第三者委員との情報交換等連携を図るため苦情解決連絡会を年2回実施した。満足度調査の結果は目標値を達成している。</p>	

(エ) 効率的・効果的な業務運営と経営改善	<p>七沢学園児童の家庭復帰率は、家庭復帰が困難な利用者が障害者支援施設等に移行した結果、施設入所による退所が一定数生じ、目標値の達成ができなかった。強度行動障害児受入者数は延べ334人で、集中療育の利用者実人数は4人であった。</p> <p>七沢学園成人については、生活訓練事業において地域移行を着実に支援することができ、家庭復帰率の目標を達成することができた。強度行動障害者受入者数は延べ1,977人で、医療重度受入者数は延べ1,825人であった。</p>	
<p>イ 七沢療育園</p> <p>(7) 施設機能の充実</p>	<p>重度の知的障害と肢体不自由を併せ持つ重症心身障害児者に治療や健康管理などの医療や看護の提供と療育及び日常生活の支援を行うとともに、在宅生活者に短期入所事業を提供した。主治医である小児科医師が中心となり他診療科医師の協力を得ながら看護師と共に日常的に医療ケアが必要である超・準超重症心身障害児者の受入れを行った。今年度の超・準超重症心身障害児者の受入れ実人数は27人であった。</p>	
(イ) 地域への支援と連携強化	<p>「在宅重症心身障害児（者）療育訪問指導事業」は延べ7人に実施した。また、短期入所事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、利用制限を行ったため、在宅の重症心身障害児者の家族等の疾病や休養目的などで実人数81人に対し、延べ429人の短期入所の提供となった。</p>	
(ウ) 利用者の視点に立った施設運営	<p>月1回の相談日を設け適切かつ公正に対応するとともに、施設毎の苦情解決第三者委員との情報交換等連携を図るため苦情解決連絡会を年2回実施した。満足度調査は、令和2年度の目標を達成した。</p>	
(エ) 効率的・効果的な業務運営と	<p>令和2年度の入所事業は70人を受入れ、70人が退所した。また、一日平均入所者数は35.0人で、一日平均入所率は89.8%で目標に届かなかった。</p>	
<p>ウ 七沢自立支援ホーム</p> <p>(7) 施設機能の充実</p>	<p>七沢自立支援ホームは、肢体不自由者及び中途視覚障害者の支援施設として一体的に運営している。</p> <p>肢体不自由者については、神奈川リハビリテーション病院と連携して、身体機能の回復・改善、職業能力・社会生活力の向上に必要な支援を行い、社会参加、家庭復帰が円滑に行えるように努めた。</p> <p>退所後の家庭復帰・就学・就労の実績は令和2年度の目標を達成できた。</p>	

(イ) 地域との連携強化	<p>地域における障害者や退所後の利用者等に通所訓練を実施し、実人数31人、延べ1,031人で、職場復帰に向けた支援、家庭復帰後の生活の質の向上及び社会生活に向けた支援等を提供した。更に視覚障害者に対しては訪問訓練を実施し、令和2年度は19件であった。また、短期入所事業では、在宅の肢体不自由者、視覚障害者を中心に家族等の疾病、休養などの理由で短期的に利用する者等で実人数6人、延べ33人の受入れを行った。</p> <p>その他に受託評価事業では、肢体不自由部門は、支援学校（支援学級）在学者の進路指導や施設利用者の生活自立支援に資するため、神奈川リハビリテーション病院と連携して、医学・心理・職能・社会生活等の評価を行っており、視覚障害部門は県内の盲学校等に在籍する視覚障害児者を対象に神奈川リハビリテーション病院眼科と連携し、視機能・触察能力・日常生活動作・コミュニケーション能力等の評価を行っている。受託評価の利用者数は実人数9人、延べ35人であった。</p>	
(ウ) 利用者の視点に立った施設運営	<p>利用者や家族からの苦情については、第三者からなる苦情解決委員により、七沢自立支援ホームについては月1回の相談日を設け適切かつ公正に対応するとともに、施設毎の苦情解決第三者委員との情報交換等連携を図るため苦情解決連絡会を年2回実施した。</p>	
(エ) 効率的・効果的な業務運営と経営改善	<p>令和2年度の肢体不自由者の施設入所支援の利用者数は、入所が33人、退所が42人、一日平均入所者数31.8人で、一日平均入所率は79.4%であった。また、日中活動支援の自立訓練（機能訓練）は一日平均利用者数が31.9人、一日平均利用率は76.0%であった。</p> <p>一方、中途視覚障害者の施設入所支援の利用者数は、入所が12人、退所が6人、一日平均入所者数5.0人で、一日平均入所率は49.6%であった。また日中活動支援の自立訓練（機能訓練）は一日平均利用者数が7.9人、一日平均利用率は44.0%であった。</p>	
(3) 調査、研究・開発事業	<p>障害者等の自立促進を目的に、リハビリテーションに関する調査、研究・開発を行っている。また、これらの成果物を対外的に発信する中で、障害者スポーツの普及に取り組んでいる。</p> <p>リハビリテーションに関する調査、研究・開発については、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 障害発生の原因の解明とそれに基づく予防対策の確立、 2) 障害発生の除去、修復メカニズムの解明、 3) 障害者の自立促進のための研究の3つの視点に、医学的、工学的、社会福祉学的領域において調査、研究・開発を行い医療・福祉の向上に向け取り組んだ。また、当センターの調査、研究・開発経験を活かし、企業との共同研究、受託研究を実施した。 	

	<p>調査、研究、開発成果の例としては、脊髄損傷者の退院後の生活における水回り（トイレ、浴室、脱衣、洗面、キッチンなど）に関する調査研究結果をもとに、協力企業が発行する水回りのプラン集の監修を行った。</p> <p>また、厚生労働省補装具費支給制度に新たに登録するための座位保持装置・完成用部品のフィールド評価を民間企業の依頼により実施している。</p> <p>さらに、3Dプリンターを活用した「かなりは式3Dプリントシステム」を構築し、リハビリテーションにおける生活動作の獲得や生活の質の向上において求められる、自助具や福祉機器を医師やセラピストと連携し作成を試みている。現在は、継続的なシステム構築と評価を継続している。</p> <p>加えて、脊髄損傷に関する製薬会社の治験について、当研究部が院内のコーディネートを行った。</p> <p>かながわりハビリロボットクリニックでは筋電義手の処方、訓練などを通じた筋電義手の普及に向けた取組、ロボットリハビリテーションの実施、企業・大学研究室への開発支援を行った。また、さがみロボット産業特区における実証実験の受入調整を行った。</p> <p>令和3年2月にセンター研究発表会を開催した。一般演題11題のほか「リモートリハの実現に向けた神奈川リハの取り組み」をテーマにシンポジウムを開催した。</p>	
<p>(4) 地域へのリハビリテーション支援事業</p>	<p>地域における障害者・高齢者等へ適切なリハビリテーションサービスを円滑に提供するための業務を全県的な立場で行った。</p> <p>地域支援室では、リハビリテーション専門研修、地域リハビリテーション支援に関連する活動、県委託事業である神奈川県リハビリテーション支援センター事業を行った。</p> <p>県委託事業に関してはリハビリテーション情報の提供、人材育成、関係機関の連携を推進する業務を行った。</p> <p>また、高次脳機能障害支援室では「高次脳機能障害支援普及事業(国事業)」の神奈川県内の支援拠点機関として支援コーディネーターと心理判定員が配置されており、高次脳機能障害者への相談支援、普及啓発活動、研修事業等を行った。</p> <p>リハビリテーション専門研修は、医療・保健・福祉・介護専門職を対象とした研修で、二つの県委託事業を除き令和2年度は23コースの研修を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での研修1コース、オンラインによる研修7コースの計8コースに変更し実施した。受講者延数は、外部受講者117名、事業団職員7名で総受講者延数は124名にとどまった。</p>	

	<p>地域リハビリテーション支援関連活動として次の活動を行った。</p> <p>ア「かながわ地域リハビリテーション支援連絡会」政令市のリハセンターとの連絡会をオンラインで実施した。 (1回)</p> <p>イ地域医療介護連携会議等への参加 1)「神奈川県小児等在宅医療推進会議」(1回) 2)「自立支援協議会」(県、保健福祉圏域、市町村)(3回)</p> <p>※例年実施している、保健福祉事務所への難病患者支援研修等の協力については、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となった。</p> <p>神奈川県リハビリテーション支援センター事業(県委託事業)として次の活動を行った。 リハビリテーションの相談対応件数は145件、ホームページへのアクセス総数は37,395件であった。</p> <p>高次脳機能障害支援普及事業として次の活動を行った。</p> <p>ア 相談支援 1) 個別支援(185件) 2) 巡回相談事業(6種)</p> <p>イ 普及・啓発 1) 研修会の開催(中止) 2) 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会(オンライン開催)</p> <p>ウ 研修関係事業 1) 研修会の開催(中止) 2) 県内研修会への講師派遣(4回) 3) 事例検討会(5回) 4) ネットワーク育成事業:高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会(2回)</p> <p>エ 国との連携:全国高次脳機能障害相談支援コーディネーター会議(2回)</p> <p>オ その他の関連事業 1) 連携構築 ①政令指定都市との連携(2回) ②自立支援協議会との連携(4回) ③当事者団体との連携(センター内に協働事業室を設置)</p>	
--	---	--

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考:自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
該当なし	

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

(1) 七沢学園（児童・入所）

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	10,044	10,262	9,586
対前年度比		102.2%	93.4%
目標値	10,731	10,731	10,731
目標達成率	93.6%	95.6%	89.3%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

(2) 七沢学園（児童・地域支援（短期入所、家族短期、家族一日））

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	704	845	0
対前年度比		120.0%	—
目標値	720	720	720
目標達成率	97.8%	117.4%	—

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 （※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

令和2年度に関しては緊急事態宣言を考慮し、まず4月に短期利用者をされている家族に当面中止と通知した。その後も、県の通知や感染状況を踏まえ、適時受入の可能性を判断し7月、9月、12月家族に中止の延長を通知した。

結果として年間を通し短期入所事業は中止せざるを得ないとの判断が継続したため、受け入れはなかった。

②令和2年度の対応状況

短期入所事業は年間を通じて中止としたが、児童相談所からの相談による児童福祉法第33条に基づく緊急一時保護による入所の受入に関しては、緊急性が高いため、児童相談所の協力を得て、2週間の検温等を実施し、ご家族、ご本人の感染リスクを鑑みた上で、受入可能と判断した実人数12人、延べ人数102人を受け入れた。今後も施設内感染予防の観点からは継続していかざるを得ないが、安全性の確認がとれた利用者は受け入れていく予定である。

(3) 七沢学園 (成人・入所)

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
A	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	10,546	9,886	10,780
対前年度比		93.7%	109.0%
目標値	10,194	10,194	10,194
目標達成率	103.5%	97.0%	105.7%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

(4) 七沢学園 (成人・地域支援 (短期入所))

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
C	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	1,078	1,105	169
対前年度比		102.5%	15.3%
目標値	1,380	1,380	1,380
目標達成率	78.1%	80.1%	12.2%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 施設内感染予防の観点により短期入所事業は原則中止とした。前年度までは短期3床を上回る延べ1,000名以上の利用があったが、令和2年度は、感染リスクがないことを確認できた強度行動障害者に限定して実施したため、85%程度減であった。
②令和2年度の対応状況 施設内感染予防の観点により短期入所事業は中止としたが、例年利用されている強度行動障害者の短期利用に限り、相談支援事業所、及び家族の協力を得て感染予防を確認し、実人数12人、延べ人数169人を受け入れた。 今後も、強度行動障害者の短期受入に関しては、感染リスクを抑え安全確認ができた利用者の受入は、個別に判断し継続していく。

(5) 七沢療育園 (入所)

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	13,064	13,125	12,782
対前年度比		100.5%	97.4%
目標値	13,807	13,807	13,808
目標達成率	94.6%	95.1%	92.6%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

(6) 七沢療育園 (地域支援 (短期入所、重心親子教室、療育訪問指導))

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	1,106	1,154	429
対前年度比		104.3%	37.2%
目標値	700	700	700
目標達成率	158.0%	164.9%	61.3%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 短期入所枠6床のところ、新型コロナウイルス感染症予防対策として園内でのウイルスの蔓延を防ぐため、個室が提供できる1床ないし2床のみとした。そのため例年の4割弱まで入所率が低下した。
②令和2年度の対応状況 2020年4月から5月は短期入所は中止。6月下旬に1床から再開し9月から2床運用を実施したが、2021年1月の緊急事態宣言発令に伴い、再び1床となり3月までに至る。その間、利用者にはスクリーニングをしていただいた。保護者は園内の生活の場への立ち入りをお断りし利用開始時のポティチェックは写真で見てもらった。また、遠方に出かけた保護者に対しては、利用者の退所時、園内の入園をお断りし、メンテナンス通路で引き渡した。

(7) 七沢自立支援ホーム（入所）

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
C	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	15,526	15,532	13,403
対前年度比		100.0%	86.3%
目標値	17,173	17,173	17,173
目標達成率	90.4%	90.4%	78.0%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 新型コロナウイルスの感染防止の為、外出・外泊・面会等の制限を行ったことから、利用取り下げや、早期退所者が出たことも影響し、前年度に比べ利用率が減少した。
②令和2年度の対応状況 地域移行をする上で必要な外出については、必要性・行き先・時間等を前提に提出し、感染予防の検討をした上で実施した。 行事は基本的には中止としたが、所内のみでの行事については少人数で密を避け、適宜消毒等感染に努めながら実施した。 Zoomを用いて在宅の利用者に対する遠隔訓練や、講習等を試行的に開始した。

(8) 七沢自立支援ホーム（地域支援（短期入所、通所、受託評価））

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
C	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	495	472	68
対前年度比		95.4%	14.4%
目標値	1,372	1,372	1,297
目標達成率	36.1%	34.4%	5.2%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、短期利用や受託評価の利用については、利用制限をしたことで、利用率は大幅に低下した。
②令和2年度の対応状況 年末年始で社会資源が利用できず、地域で孤立が想定される短期利用の方に関しては、事前に感染予防対策を十分に行っていただいた上で受け入れた。 卒業後の進路に影響を与える高等部3年生に関しては、期間を限定した中で受託評価で受け入れた。

(9) 神奈川県リハビリテーション病院 (入院)

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	91,848	85,727	78,208
対前年度比		93.3%	91.2%
目標値	91,980	91,980	91,980
目標達成率	99.9%	93.2%	85.0%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

(10) 神奈川県リハビリテーション病院 (外来)

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	60,076	55,126	45,452
対前年度比		91.8%	82.5%
目標値	73,200	73,200	72,600
目標達成率	82.1%	75.3%	62.6%

目標値の設定根拠： 指定管理者申請時に策定した事業団経営計画
令和2年度の年度協定書

利用者数の算出方法（対象）： 年間延べ利用者数を集計した

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 市中病院の感染まん延に伴う不安感から、患者が入院を敬遠したことや外来の受診を控えたことにより入院・外来とも患者数が減少するとともに、外来リハビリテーション訓練の中止により外来患者数が減少した。また、4月の県知事による不急の手術の延期要請により手術患者数についても減少した。 クラスター対策のため東館病棟の稼働を50%に制限するとともに、県の要請による下り搬送受け入れのためICUを閉鎖してコロナ患者の受け入れを行った。
②令和2年度の対応状況 クラスターを発生させない対策を第一優先とした運営を行った。特に患者を感染から守るため、入院患者については面会や外出泊を禁止し、外来患者については来院せずに受診ができるよう電話再診を行った。

6. 利用者の満足度

(1) 七沢学園（児童・成人）

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	管理業務のサービス水準の向上を目的として実施	実施期間：令和2年11月9日～令和2年11月27日

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 安心した生活、プライバシーの保護、相談事への対応、施設の印象等

実施した調査の配布方法 聞き取り 回収数/配布数 39 / 56 = 69.6%

配布(サンプル)対象 利用者本人

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	23	8	2	3	36	
回答率	63.9%	22.2%	5.6%	8.3%		
前年度の回答数	24	7	5	2	38	
前年度回答率	63.2%	18.4%	13.2%	5.3%		
回答率の対前年度比	101.2%	120.6%	42.2%	158.3%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

(2) 七沢療育園

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	管理業務のサービス水準の向上を目的として実施	実施期間：令和2年10月7日～令和2年10月31日

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設のルール、行事・活動・食事、職員の対応状況 等

実施した調査の配布方法 郵送 回収数/配布数 30 / 37 = 81.1%

配布(サンプル)対象 長期利用者の家族（保護者等）

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	23	3	0	0	26	
回答率	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%		
前年度の回答数	28	3	0	0	31	
前年度回答率	90.3%	9.7%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	97.9%	119.2%	-	-		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

(3) 七沢自立支援ホーム

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	管理業務のサービス水準の向上を目的として実施	実施期間：令和2年9月7日～令和2年9月18日

[サービス内容の総合評価]

質問内容 施設のルール、集団生活、行事、施設設備、職員の対応状況 等

実施した調査の配布方法 個別配布、聞き取り 回収数/配布数 36 / 50 = 72.0%

配布(サンプル)対象 利用者本人

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合評価の回答数	20	8	5	2	35	
回答率	57.1%	22.9%	14.3%	5.7%		
前年度の回答数	27	9	2	1	39	
前年度回答率	69.2%	23.1%	5.1%	2.6%		
回答率の対前年度比	82.5%	99.0%	278.6%	222.9%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

(4) 神奈川リハビリテーション病院 (入院)

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	管理業務のサービス水準の向上を目的として実施	実施期間：令和2年12月14日～令和2年12月25日

[サービス内容の総合評価]

質問内容 病院全般の満足度

実施した調査の配布方法 病棟で配布 回収数/配布数 151 / 183 = 82.5%

配布(サンプル)対象 入院患者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合評価の回答数	99	21	3	0	123	とても親切に対応して下さり、館内の雰囲気も明るい事から、こちらを選んで良かったと感じております。
回答率	80.5%	17.1%	2.4%	0.0%		
前年度の回答数	102	19	6	2	129	
前年度回答率	79.1%	14.7%	4.7%	1.6%		
回答率の対前年度比	101.8%	115.9%	52.4%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

(5) 神奈川県リハビリテーション病院（外来）

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
—	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	管理業務のサービス水準の向上を目的として実施	令和3年1月から満足度調査の実施時期を検討してきたが、令和3年3月の緊急事態宣言の延長がされたことにより、中止となった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 —
 実施した調査の配布方法 — 回収数/配布数 — / — = —
 配布(サンプル)対象 —

	満足	どちらか といえ ば満足	どちらか といえ ば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数						
回答率						
前年度の回答数	199	75	7	1	282	
前年度回答率	70.6%	26.6%	2.5%	0.4%		
回答率の対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<p>【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 令和3年1月に外来満足度調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い緊急事態宣言が発出されたため、接触による感染リスクを考慮し中止とした。 その後も、令和3年3月下旬まで緊急事態宣言が延長となったことから、調査を実施することが出来なかった。</p> <p>②令和2年度の対応状況 令和2年度は利用者満足度調査を実施できなかったが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、実施の再開に向けて検討する。</p>
--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	2,962,777	4,397,378	34,608	備考のとおり	7,394,763	7,394,763	0	
	決算	2,952,367	4,534,527	38,547	備考のとおり	7,525,441	7,458,403	67,038	100.90%
前年度	当初予算	3,002,339	4,375,079	37,236	備考のとおり	7,414,654	7,414,654	0	
	決算	2,988,168	4,268,988	32,572	備考のとおり	7,289,728	7,169,478	120,250	101.68%
令和2年度	当初予算	2,613,443	4,396,644	39,468	備考のとおり	7,049,555	7,049,555	0	
	決算	2,569,224	4,126,628	212,302	備考のとおり	6,908,154	6,885,834	22,320	100.32%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
令和2年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<p><備考></p> <p>前々年度／受取利息配当金収入：(当初) 4,848 (決算) 4,114 その他の収入：(当初) 15,040 (決算) 18,118 長期貸付金回収収入：(当初) 3,641 (決算) 5,651 こども園使用料・給食費・補助金収入：(当初) 11,079 (決算) 10,663</p> <p>前年度／受取利息配当金収入：(当初) 4,848 (決算) 3,708 その他の収入：(当初) 16,093 (決算) 17,626 長期貸付金回収収入：(当初) 3,641 (決算) 5,392 こども園使用料・給食費・補助金収入：(当初) 12,654 (決算) 5,846</p> <p>令和2年度／受取利息配当金収入：(当初) 4,543 (決算) 2,366 その他の収入：(当初) 16,488 (決算) 15,495 長期貸付金回収収入：(当初) 3,641 (決算) 13,360 こども園使用料・給食費・補助金収入：(当初) 14,796 (決算) 2,604 コロナ等補助金収入：(当初) 0 (決算) 78,477 経営安定化調整資金取崩収入：(当初) 0 (決算) 100,000</p>
--

<p>【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>②令和2年度の対応状況</p> <p style="text-align: center;">—</p>
--

8. 苦情・要望等 該当なし

(1) 七沢学園 (児童・成人)

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	苦情	0 件	・Wifiをつけてほしい。家でゲームのアップデートをしている。他の利用者とゲームができない。	・(七沢学園児童からの要望でセキュリティの問題もあるので、) 意見があったことを第三者委員から園長に伝えた。
	相談	0 件		
	要望	3 件		
職員対応	苦情	1 件	・退所後のグループホームと退所後の生活全般の相談。	・話を傾聴し、グループホームも仕事も探すとよいと助言した。
	相談	11 件		
事業内容	苦情	0 件	・外出・外泊が制限され残念に思う。	・児童発達支援管理責任者がご本人へ説明し対応した。
	相談	3 件		
その他	苦情	0 件		
	相談	0 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

(2) 七沢療育園

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	苦情	0 件		
	相談	0 件		
職員対応	苦情	0 件		
	相談	0 件		
事業内容	苦情	0 件		
	相談	0 件		
その他	苦情	0 件		
	相談	0 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

(3) 七沢自立支援ホーム

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	苦情	0 件		
	相談	0 件		
職員対応	苦情	3 件	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤明けの職員が薬を塗ってくれない。 ・個別支援計画の相談したが、その後進展しない。 ・訓練の際、職員の言い方がきつい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の言っている時間とは異なっていたが、職員へ伝え、チェック表を確認し対応するよう職員に周知した。 ・後日、生活担当とサービス管理責任者から現在の状況と今後の訓練計画を説明した。 ・訓練担当職員に伝え、今後の対応に配慮するよう指導する。
	相談	11 件		
事業内容	苦情	0 件		
	相談	0 件		
その他	苦情	2 件	<ul style="list-style-type: none"> ・味噌汁の具が献立表に書かれていない。 ・視覚の利用者より「耳が悪いことを職員から他の利用者へ伝えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養科から利用者へ回答した。 ・後日確認したところ、実際には、ご本人と生活担当職員で既に各利用者の居室を回って説明していた。この事から、他利用者へ再度伝えることはせず、今後新しく入所される方に対し、説明をどの様にするのか、事前にご本人と話し合うこととなった。
	相談	5 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

(4) 神奈川リハビリテーション病院

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	苦情	5 件	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話がつながりにくく、通信環境を整備してほしい。 ・Wifiがつながるようにしてほしい 	医療機器への電波の影響を受ける可能性が懸念されるため院内の携帯電話は許可された場所をお願いしたい。
	要望	22 件		
	感謝	1 件		
職員対応	苦情	39 件	<ul style="list-style-type: none"> ・病院構内は禁煙のはずなのに、駐車場の隠れた場所で喫煙している人がいる。注意してほしい。 	巡回を増やして対応した。また、当院は禁煙外来を設置しているので受診を啓もうしていきたい。
	要望	2 件		
	感謝	3 件		
事業内容	苦情	17 件	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行で外来リハがお休みになってしまった。必要な患者がいるので早く再開してほしい。 	コロナウイルス流行下ではあるが、リハビリの提供に対しては必要なレベルで常に最善の方法を検討している。クラスターが起きないようその時どきの状況に合わせ対応をしている。
	要望	13 件		
	相談	0 件		
その他	要望	3 件	<ul style="list-style-type: none"> ・受付で名前を口頭で呼ぶ方法をやめて電光掲示にしてほしい。 	当院の特性上様々な障害の患者さんが来院されるので、みなさんにご不便のないような対応を今後も検討していく。
	その他	0 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
12月10日	①令和2年12月10日（木）七沢学園で、職員が利用者のおでこをグーの手で擦った。 ②令和2年2月2日（火）神奈川県県立病院課職員が、基本協定書第52条に基づき関連業務や虐待防止計画（平成28年3月作成）の実施状況について確認した。 ③七沢学園における再発防止に向けた改善計画及び事例報告書を平塚市障がい福祉課へ提出した。 ④無し ⑤無し ⑥無し
12月25日	①令和2年12月25日（金）七沢学園で、転倒の際に右足脛骨骨幹部骨折した。 ②令和2年12月28日文書報告 ③居室内にご本人が伝い歩きしたい環境を整える。てんかん発作時については、適切な処方につながるよう引き続きデータを取り、受診時に報告する。 ④無し ⑤無し ⑥無し
2月26日	①令和3年2月26日（金）七沢学園で、転倒の際に左頬を挫傷した。 ②令和3年2月26日文書報告 ③利用者の導線を確保するとともに、その他の利用者を別の場所に移動させ、安全確保を行っていく。 ④無し ⑤無し ⑥無し

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。